

武蔵国分寺跡資料館だより

Musasi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

武蔵国分寺跡資料館
Musasi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス] http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/1733/009819.html

2011.1
第5号



市内初の国登録有形文化財

平成22年9月に、おたかの道湧水園の「長屋門」と「倉」が市内ですべて初めて国登録有形文化財として登録されました。

● 日本多家住宅倉

平成22年9月10日登録
登録番号第13-0265号

倉2階の棟木に「維時宝永五年創建 明治三十三年十二月三世本多良助全部新造（略）」という墨書があり、江戸時代中期の宝永5年（1708）に建った倉を明治33年（1900）に新築したという経緯が分かります。

現在の目地を切ったモルタル洗い出しの外壁は、都立殿ヶ谷戸庭園内の同年代建築の蔵と似ており、同時代の流行を示しています。

聞き取り調査で、家財道具などを収納していたことが分かっています。



日本多家住宅倉

● 日本多家住宅長屋門

平成22年9月10日登録
登録番号第13-0266号

旧国分寺村の名主家の門。建築の注文書が残っており当初の規模などが分かります。1階東側の2間の座敷は、隠居などの居室として使用することを想定して設えられたのではないかと思います。事実、幕末の慶応元年（1865）から名主家の子息である医師本多雖軒が一時期ここで開業していました。

長屋門とは門の形式のひとつです。近世の大名・旗本などが家臣の居所として長屋と門を結合して建築したものです。民家の場合は長屋部分を物置などに使用していました。近世では、村役人または名字帯刀を許された家の門形式として公に許されていました。



日本多家住宅長屋門

名称	日本多家住宅倉
所在地	東京都国分寺市西元町 1-1574-1
年代	明治33 / 昭和8年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価	敷地の西側に位置する。桁行き4.5m梁間3.6mの木造2階建、切妻造鉄板葺の置屋根とする。東妻面を出入口、2階の東西妻面に開口を穿つ。内壁は板張とし、外壁は昭和の改修で目地を切るモルタル洗い出しとする。時代の流行を反映した近代的な倉である。
備考(調査等)	建築年代等は棟木(むなぎ)銘による。

名称	日本多家住宅長屋門
所在地	東京都国分寺市西元町 1-1574-1
年代	弘化5年(1848)
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価	敷地の南端、T字路の突きあたりに建つ。桁行15m梁間4.5mの木造2階建、東西棟の寄棟造鉄板葺。1階は下見板張、2階は漆喰仕上げとする。中央を門口とし、両開戸と潜り戸を吊り、東側に座敷、西側に物置を配する。名主の風格を留める長屋門である。
備考(調査等)	建築年代は文書による。

祝 入園(入館)者 2万人を達成

一昨年 10 月 18 日にオープンしました国分寺市おたかの道湧水園(武蔵国分寺跡資料館)への入園(館)者が、さる 11 月 13 日(土) 正午まえに 2 万人目を達成しました。

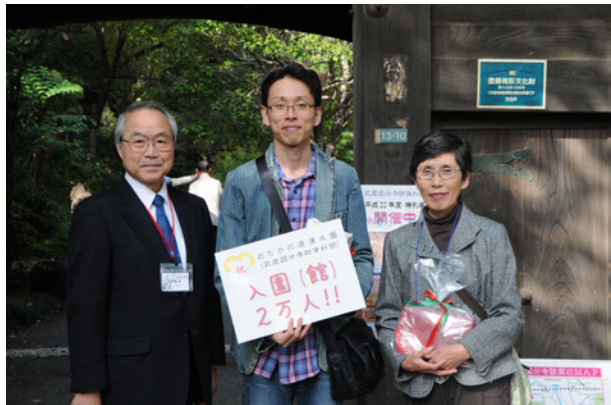
2 万人目の方には、文化財図書やぶんバスチョロ Q などの記念品が贈呈され、史跡の駅長インタビューにお応えいただきました。



内田教育委員長(右)から記念品を贈呈される M さん(左)
 今後は、大きな節目となる 5 万人や 10 万人目などで、今回と同様に、ささやかな記念行事を行いたいと考えています。



武蔵国分寺跡資料館では、展示解説を行いました



記念撮影
 左から星野市長、Mさんのご子息、Mさん

● 来館 2 万人目の方について

大阪府の阪南市にお住まいの M さん(60 歳代・女性)は、神社・仏閣・史跡めぐりがお好きな方で、日頃も京都、奈良などに毎月のように、お出かけになるそうです。

ご子息が国分寺市へ転居したのを機に国分寺の歴史を知りたく訪問されたそうです。

幸運にも 2 万人目となり、大変驚かれ、感激されていました。



長屋門の前にて関係者の記念撮影

● これまでに入園(館)された方々

おたかの道湧水園や資料館には、多くの市外の方々にもお越しいただきました。お鷹の道や史跡周辺の散歩、小中学校の校外学習などで入園(館)された方もいらっしゃいます。

来館者数

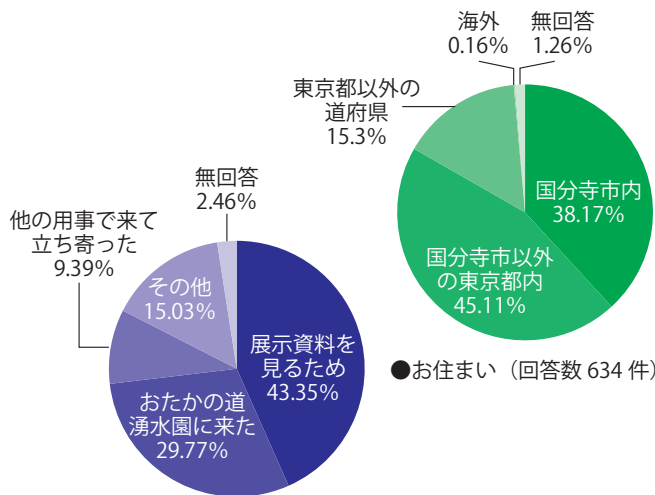
2009 年 10 月 18 日～ 2010 年 12 月末日

来館者数累計 22,166 名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
10	1248	27
11	3904 (1995)	25 (3)
12	803	24
計	5955	76

○ 来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数
 ○ 来館者数()内は無料公開日の入園者数
 ○ 開館日数()内は無料公開日の日数



アンケート (2009 年 10 月 18 日から 2010 年 12 月 11 日までの集計)

Temporary Exhibition

特別展示



古代道路を掘る

開催中

— 東山道武蔵路の調査成果と保存活用 —

国分寺市内の発掘調査で確認された東山道武蔵路の調査成果を紹介しています。パネルを中心に、東山道武蔵路の歴史的背景と歴史遺産としての今後の保存・活用について考える展示を行っています。

【開館時間】9:00～17:00 (入館は16:45まで)
【期間】2010年10月30日(土)
～2011年1月30日(日)
【会場】武蔵国分寺跡資料館

特別展関連EVENTS

展示解説



展示室で資料館学芸員が展示解説を行います。

【日時】2011年1月15日(土)

※10:00、14:00の各2回(約30分)

【定員】30名(前後)
【申込】不要
【参加費】おたかの道湧水園の入園料100円
【集合場所】武蔵国分寺跡資料館 展示室1
【問合せ先】武蔵国分寺跡資料館 042-323-4103

EVENTS

多摩郷土誌フェア



第23回多摩郷土誌フェアが開催されます。多摩地区28市町村の郷土・歴史・文化財に関する書籍を展示即売しています。

【開催期間】2011年1月21日(金)～23日(日)
【時間】10:00～19:00(日曜日は17:00まで)
【主催】東京都市社会教育課長会文化財部会
【協賛】オリオン書房
【会場】オリオン書房ノルテ店
多摩モノレール立川北駅前(パークアベニュー3階)

【展示書籍の解説】1月21日(金)14:00～
パークアベニュー10階 会議室にて
【参加市町村】八王子市・立川市・武蔵野市・三鷹市・青梅市
府中市・昭島市・調布市・町田市・小金井市・小平市・日野市
東村山市・国分寺市・国立市・福生市・東大和市・東久留米市
武蔵村山市・多摩市・稲城市・羽村市・あきる野市・西東京市
瑞穂町・日の出町・奥多摩町・檜原村
【ご案内】国分寺市ホームページ
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/>
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

NEWS

文化財防火デーのお知らせ

毎年1月26日は文化財防火デーです。文化財防火デーは昭和24年1月26日に、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が消失したことをきっかけとして、昭和30年に制定されました。国分寺市では1月26日の当日午前10時から国分寺薬師堂付近で東京消防庁による消防訓練が実施される予定です。〈見学は自由です〉

臨時休館のお知らせ

2011年2月1日(火)～4日(金)は展示資料入替のため臨時休館いたします。

資料館の資料が展示されました

2010年の秋に埼玉県立歴史と民俗の博物館特別展「仏教伝来 埼玉の古代寺院」、上田市立信濃国分寺資料館特別展「平城京と東海諸国の国分寺」に武蔵国分寺跡資料館の資料が展示されました。

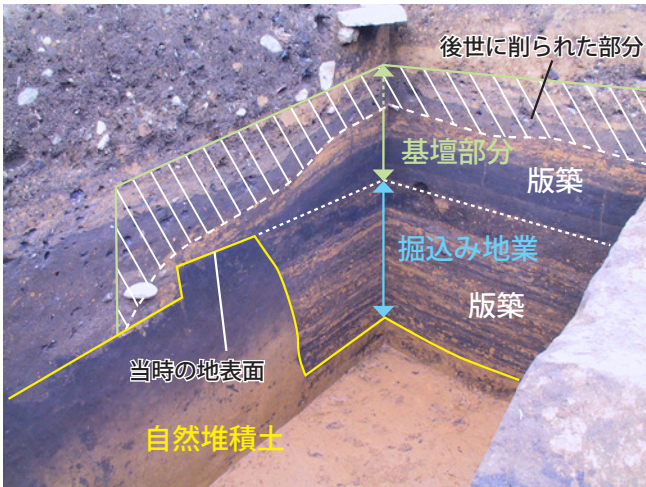
歴史的建造物の保存活用計画を策定中

9月におたかの道湧水園の「長屋門」と「倉」が、市内で初めて国登録有形文化財として登録され、国分寺市では現在、保存活用計画を策定中です。この度中間報告の素案がまとまり、国分寺市のホームページで公開しています。保存活用計画は今年度中に策定いたします。

国登録有形文化財

文化財指定制度を補完するために、平成8年導入された制度です。近年開発等により消滅の危機に晒されている保存及び活用の措置が特に必要とされる、多種多様かつ大量の近代を中心とする文化財建造物を、後世に継承していくために、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する制度です。





金堂の西側の掘り込み地業と版築(平成22年度の調査より)

金堂や講堂などの大型建物には、数万枚の瓦が葺かれ、柱などの木材を合わせると、建物全体の重さは約100トン以上あったと考えられます。この重さに耐えられるように、建物を建てる前に建物範囲全体の地面を掘り下げて版築(VOL.1を参照)を行い、地盤自体を強化する工法を掘り込み地業といいます。

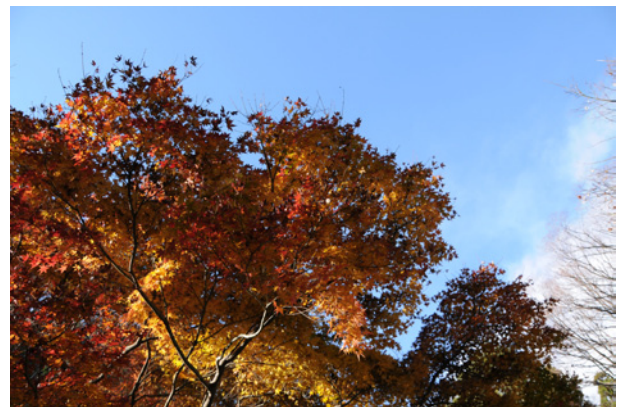
金堂では、地表面から約1.2m掘り下げてから、ローム土と黒色土を交互に突き固める版築を行っています。

各層の厚さは平均5cmほどで、水平に重ねられた版築からは、古代の緻密な建築工法の一部をうかがうことができます。

おたかの道湧水園 Photo



〈10月〉 ツブキの花



〈11月〉 紅葉

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】JR国分寺駅下車／徒歩約20分 JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
 国分寺駅南口より「京王バス」系統番号「寺83」・「寺85」乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■ 開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■ 休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
 年末年始(12月29日から1月3日まで)
 臨時休館することがあります。

■ 入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)
 一般……………100円(年間パスポート1000円)
 中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)
- 身体障害者及びその介護者が入園するとき(券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。)
- その他教育長が特別の理由があると認めるとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)

※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる
武蔵国分寺跡
資料館
 Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



モバイルホームページQRコード